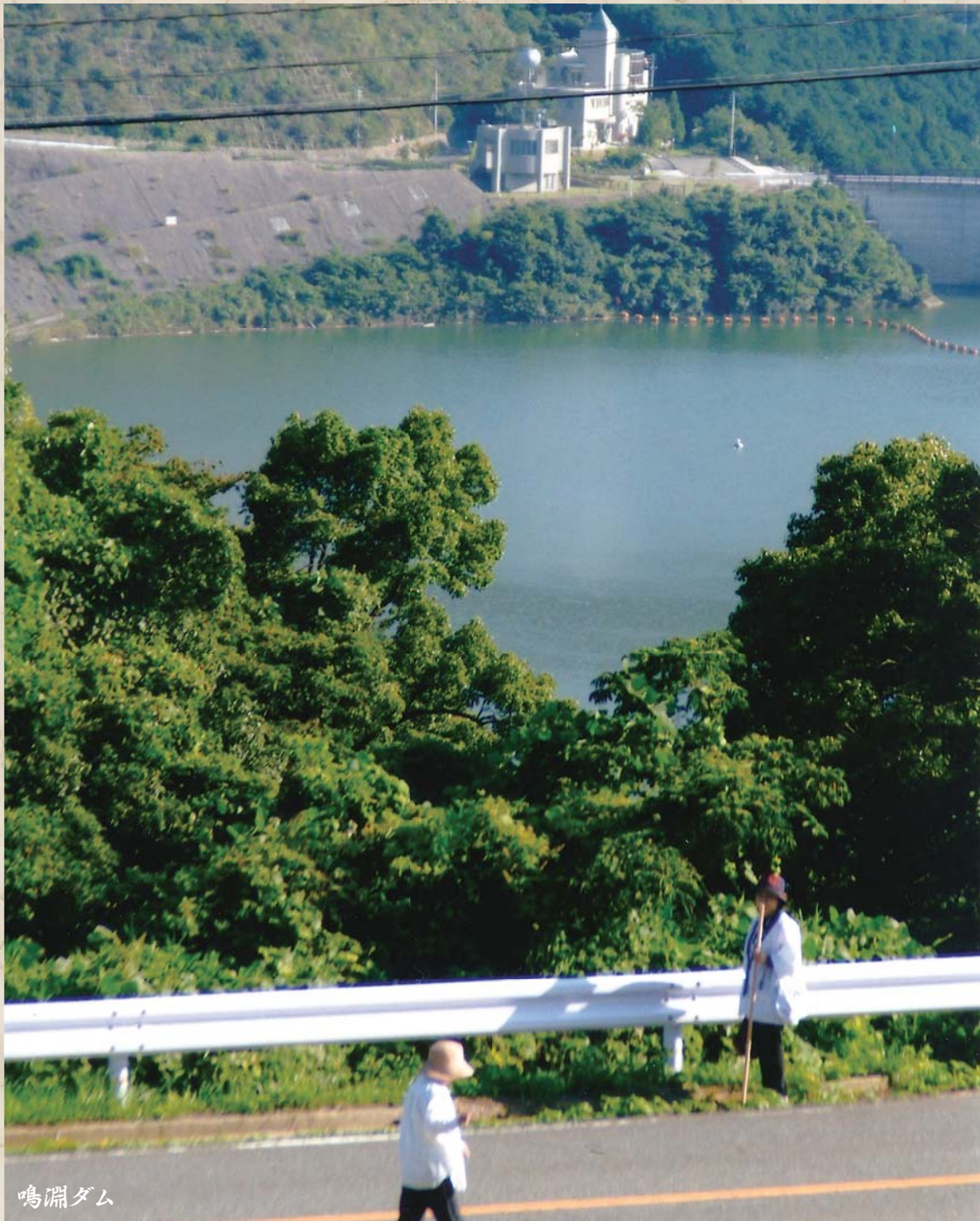


ささぐり

GIKAIジャーナル

No.161 平成21年11月1日発行



鳴淵ダム



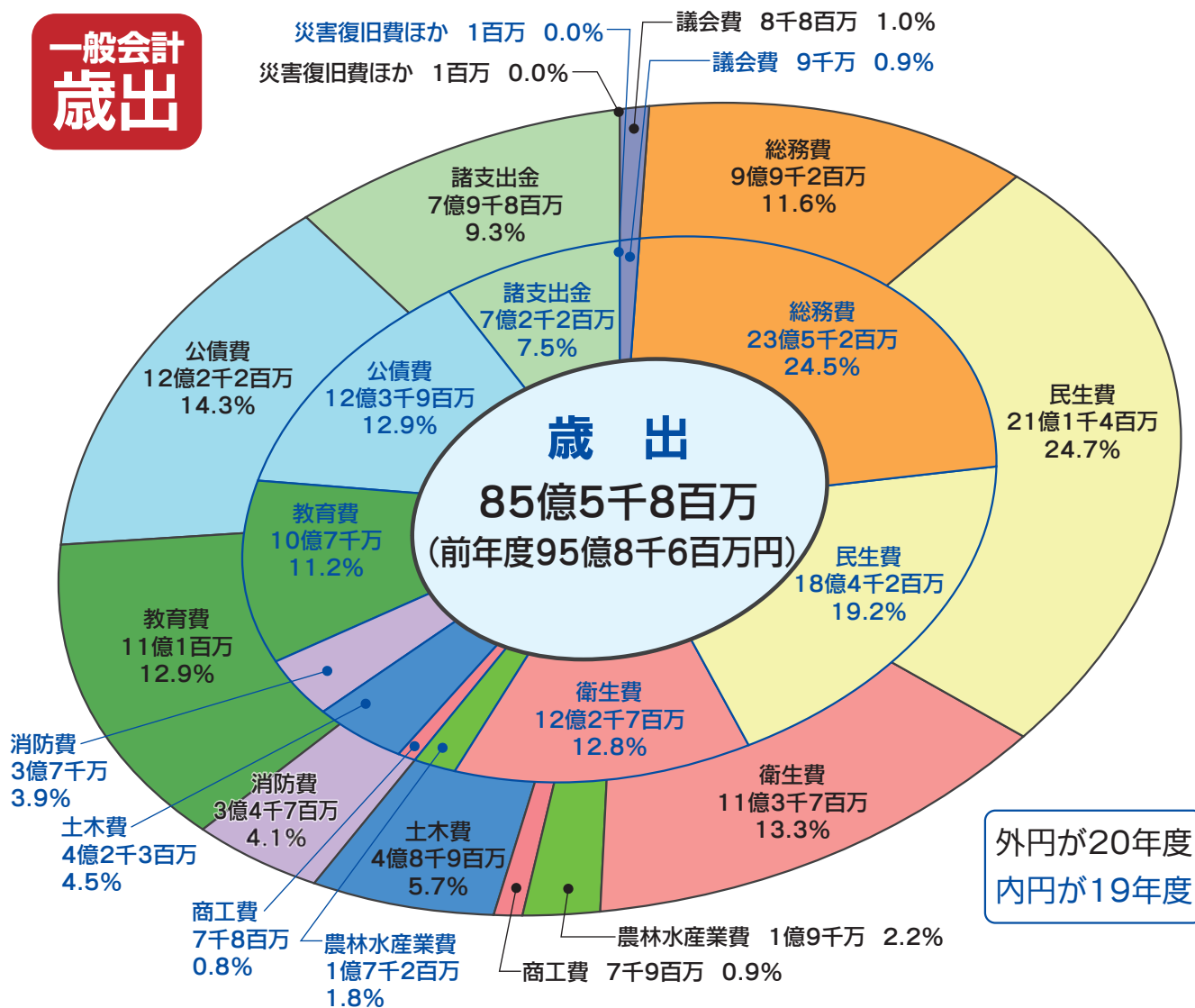
平成21年9月議会号

20年度決算認定	2
山王公民館建設補助金の監査報告	5
出産一時金4万円アップ	6
災害緊急予算8億8千万円	8
どげんするとなあ?	9

2千3百万円

19年度比 約22.1%(39.2億円)の減額

一般会計
歳出



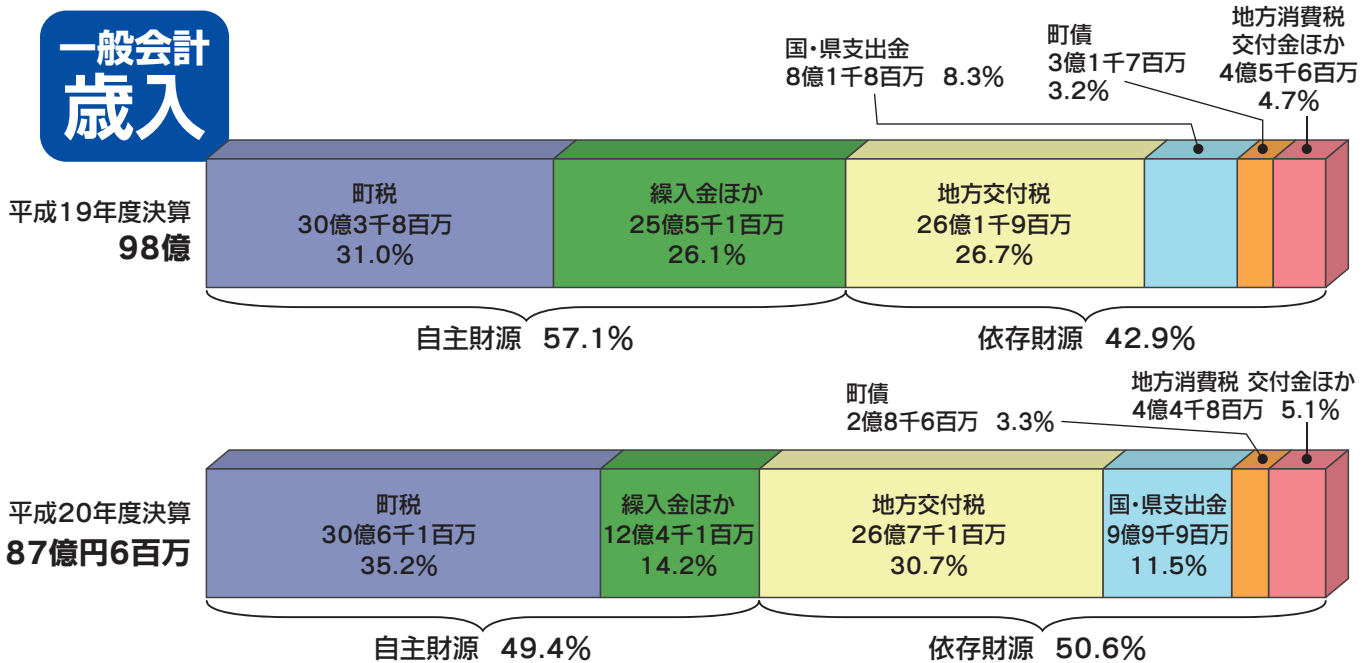
- 総務費の大幅な減は前年度の基金組み替えによります。
- 民生費の増は後期高齢者医療対策費や障害者福祉費など社会福祉費の増によります。
- 衛生費の減は、し尿終末処理費などの減によります。
- 農林水産業費の増は森林セラピー調査事業・林道開設工事などによります。
- 土木費の増は道路改修工事などの増によります。
- 消防費の減は前年度の消防格納庫建設補助などによります。
- 教育費の増は校舎増築工事やプール改修工事などによります。
- 公債費の減は、元利償還分は増ですが、繰上償還分の減によります。
- 諸支出金の増は特別会計繰出金の増によります。

平成20年度歳入歳出決算 歳出 138億

全員賛成認定

一般会計・特別会計総額

歳入 138億3千5百万円



特別会計決算

(十万円単位四捨五入 単位：円)

会 計	決 算 額		対前年度増減	
	歳 入	歳 出	歳 入	歳 出
国民健康保険	26億 3百万	26億8千8百万	▲ 3億4千6百万	▲ 3億4千1百万
老 人 保 健	2億5千5百万	2億5千5百万	▲22億6千4百万	▲22億6千4百万
後 期 高 齢 者	2億8千1百万	2億7千6百万	2億8千1百万	2億7千6百万
公 共 下 水 道	13億7千4百万	13億2千4百万	▲ 4億4千4百万	▲ 4億6千7百万
水 道 事 業	6億1千7百万	7億2千1百万	▲ 8千2百万	▲ 9千2百万
合 計	51億2千9百万	52億6千5百万	▲28億5千5百万	▲28億8千8百万

平成20年度 決算審査報告

一般会計・特別会計等

篠栗町監査委員

福原 和男
村嶋 秀樹



審査の結果

一般会計及び特別会計歳入歳出決算額は、違法な点は見られず、また水道事業会計も健全な経営がなされ、かつ関係諸帳票及び証憑書類と合致しており、決算の計数は正確でした。

また、予算の執行・収入支出事務の処理及び財産管理についてもおおむね適正でした。しかし、財政運営のいっそうの健全化が求められます。

監査委員の意見

制度改革と景気動向などで、20年度は町税・地方特例交付金・地方交付税・国県支出金などは増加しましたが、地方譲与税・配当交付金・株式等譲渡所得割交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金・町債ほかが増加しました。地方自治体は依然として厳しい財政状況にあり、次年度以降も交付税・国県支出金的大幅な増や、町税など自主財源の著しい増加は望めません。

歳出では、数年前までの大規模建設事業による公債費が年毎に増加し、20年度には一般会計だけでも11億円を超えました。以後5年間は10～11億円台の見込みです。また、負担金・扶助費をはじめさまざまな支出が増え、経常収支比率が95・4%と悪化しました。

地方分権を担うこれからの地方自治体は、自己決定・自

己責任がいつそう求められ、財政悪化への対策が早急に望まれます。今後の行財政運営では、人件費をはじめ建設事業費・物件費他聖域なく一切の無駄を排除し、効率的な執行体制を確立しなくてはなりません。

自主財源の増加のため、町税徴収率の向上に努め、町有財産の貸付・売り払いなども積極的に進めるべきです。町民サービスを低下させず町民福祉を実現する行財政改革を推進しなくてはなりません。

行財政改革を遂行するためには、職員意識の改革と組織・制度の改革は不可欠です。人事評価制度により競争原理を持ち込み、職員の能力がいきいきと発揮できる制度としなくてはなりません。持続可能な行財政を維持できる体制づくりに積極的に取り組むよう求めます。

20年度に完了した主な事業



- ・峯尾公衆トイレ建築工事
- ・篠栗北中校舎増築工事
- ・北勢門小プール改修工事

…などです。

山王公民館建設補助金の 監査報告

篠栗町監査委員

福原 和男

村嶋 秀樹

6月議会で、山王公民分館建設補助金の支出に対して疑義があるとして、議会から町監査委員へ監査請求を行いました。

9月議会で監査委員より、結果報告を受けましたので、その内容を一部抜粋して掲載します。

監査の結果

(一部抜粋)

請求趣旨『町の指導・監督に問題がなかったですか。』について

町担当課の指導・監督は、問題があります。まず書類では、契約書と変更契約書での印鑑や代表の肩書きの相違当初契約時の建設業県知事許可の無許可、変更契約書添付見積書の不適などに気がつかず指導もしていません。工事完了報告書に内容が分かる竣工検査調書を添付していません。決算書に区総会資料程度の収支報告書を付けさせていません。また基礎・擁壁工事写真がないまま完了報告を受理しています。区長の閲覧要求への対応も問題があります。概算払いの不適切及び

部分進捗検査をしていないことにも問題があります。山王区からの区内業者特命随意契約の申し出に対し入札の指導を行いました。最終的には受け入れていません。しかし、補助金額を水道口径や浄化槽規模の縮小及び建築工事経費の削減で、3回切り下げる努力もしています。

意見

(1) 補助金執行上の指導・監督について

公民分館建設は基本的に行政区が主体で、町が建設費補助金を出しています。補助金の適正な執行上必要な指導・監督はしなければなりません。まず、補助金申請の条件である「区総会又はこれに代わるものの議決を経た

工事計画書」であるか否かを確認し、適合していなければ指導しなければなりません。次に、補助金が町民から徴収された税金で賄われるものであることに留意し、補助金が公正かつ効率的に使用されるよう努めるとともに、補助金を受ける側にもそれを求めているかなければなりません。

指導・監督するためには、建築工事に精通した職員の配置が必要ですが、各課に配置することが合理的とは思いません。そこで、建設課等の支援が受けられる体制を整えることが必要です。

(2) 補助金交付手続き等について

①疑義が生じた主な原因は、明確な補助金交付基準（補助対象経費、補助基準額等）が定められていないため

過去の例にならっていないからです。明確な交付基準を定め、公平性、透明性を高めることが必要です。

②補助金交付手続きが明確に定められていないので、これも疑義が生じる原因となっています。特に本件では概算払いのあり方に問題があります。明確な補助金交付手続きを定め、公平性・透明性を高めることが必要です。

(3) 補助金交付に係る利子の処理について

不適当な概算払いにより多額の利子が生じています。補助金に係る利子の返還は通常行っておらず、影響があまりにも大きいので慎重に検討されることが必要です。

※監査報告書の閲覧はいつでもできます。

4万円アップ

の補正予算専決
に伴う外部規約の
決しました。

国保被保険者への出産育児一時金は38万円（うち3万円は脳性まひの保険料）が上限でした。緊急の少子化対策として、21年10月から23年3月までの出産に4万円上乗せして、給付実費を39万円とします。

（全員賛成可決）

国保税の減免を拡大

現在の厳しい雇用や失業情勢で、国民健康保険税を納めることができない方が増えていて、減免の理由に「その他特別な事情」を加えます。減免理由がなくなった場合の申告義務も追加しました。

また、給付の制限を受ける者に「刑事施設などへの拘禁」を加えます。

（全員賛成可決）

人権擁護委員に 井口氏を再任

現委員の井口彌江氏が今年12月で任期満了となるため、再任に同意しました。

井口氏は平成14年3月に小学校校長を退職

され、15年10月から町人権擁護委員を務められています。

（全員賛成同意）

糸島市合併で外部 組合等の規約変更

22年1月1日から、前原市・二丈町・志摩町が合併して糸島市となります。

それらの市町が構成団体となっている一部事務組合等の10規約を変更します。構成団体の変更と一部で議員数等の変更です。

（全員賛成可決）

財産組合議員を再任

糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合議員の任期が21年10月で満了するため、2人の議員を指名推選で選出しました。

篠栗地区から前議員で高田在任の柳池要之助氏、勢門地区から町長の三浦正氏を再任しました。

（全員賛成選出）

篠中3教室を増築

昨年の北中に続き、篠栗中学校区の生徒数増加で来年以降に教室が不足するため、3普通教室を増築します。

普通教室棟（南側校舎）の東側に続けて鉄筋コンクリートの3階建てで、建築面積は各階の教室と廊下で280.5㎡です。

6社による指名競争入札の結果、篠栗町和田の光建設工業株式会社と5512万5千円で契約をしました。落札率は94.76%、請負率は90.83%、建坪単価は64万8500円です。またこの予算のうち、国庫負担金を2000万円予算計上しています。

（全員賛成可決）



9月定例会

日程 9/8~18

出産一時金

9月議会では決算認定1件(2p)、災害被災者救護及び災害復旧のため処分1件(8p)、人事案件1件、条例改正3件、工事契約1件、合併に変更10件、補正予算5件、選挙案1件が上程され、全て全員賛成で可

一般会計補正予算 (補正額は下表)

歳出の主なものは、

○子育て応援手当支給
(第2弾分)

4120万円

※政府の補正予算見直しで廃止の可能性が
あります。

○女性特有がん検診
583万円

○日本脳炎予防接種
565万円

○小林池改修工事
2578万円

○蛇谷線林道
開設追加工事
850万円

○九大の森
関連歩道工事
3020万円

○西浦公園
北側用地買収
2905万円

○極楽池測量調査
500万円

○町道部分補修工事
500万円

○小・中・幼地上デジタ
ル対応アンテナ工事
210万円

○7月人事異動に伴う
人件費
1286万円

○国保特別会計繰出金
▲675万円

歳入では、

○国庫支出金
子育て応援特別手当
3960万円

※政府の補正予算見直し
で廃止の可能性があり
ます。

予防接種等

644万円

小林池改修
1200万円

○県支出金
蛇谷線林道
550万円

○県産炭地振興基金
5644万円

○臨時財政対策債
1億5523万円

○普通交付税
▲1億636万円
(全員賛成可決)

国保特別会計補正

主なものは、

○老人保健医療費拠出
金

▲6000万円

○退職被保険者償還金
(20年度分確定による
追加)
3766万円
(全員賛成可決)

老保特別会計補正

○20年度医療給付費返
還金
253万円
(全員賛成可決)

後期高齢者 特別会計補正

主なものは、

○広域連合納付金
752万円
(全員賛成可決)

下水道特別会計補正

○7月人事異動に伴う
人件費
▲575万円
(全員賛成可決)

補正予算

(千円単位四捨五入)

会計別	補正額	補正後予算額
一般会計	1億8,753万円	101億4,119万円
特別会計		
国民健康保険	▲3,091万円	28億6,548万円
老人保険	235万円	1,554万円
後期高齢者医療	770万円	3億1,662万円
公共下水道事業	▲575万円	9億4,069万円

災害緊急予算8億8千万円

7月24日からの豪雨災害による、お二人の犠牲者のご冥福をお祈りいたします。また被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨災害での被災者の救護や早急な災害復旧のため、町長が7月末に補正予算を専決処分していました。議会招集の時間的余裕がなかったため、9月定例会でその承認をしました。

なお、緊急の一般会計補正予算は、8億7,990万円を追加し、総額を99億5,365万円とします。

歳出の主なもの

◎災害弔慰金……………500万円	◎被災者援護資金貸付… 2,800万円
◎消毒薬等防疫対策……………26万円	◎災害ごみ処理料…………… 420万円
◎被災地し尿処理料……………80万円	◎被災者救出等賃金……………48万円
◎被災者救出等食料費…………… 135万円	◎被災者救出等手数料…………… 63万円
◎職員手当等…………… 1,778万円	

【災害復旧費】

◎農業用施設……………9,880万円	◎林道…………… 8,350万円
◎農地…………… 7,232万円	◎道路橋梁…………… 3億 865万円
◎河川…………… 2億 1,825万円	◎児童館…………… 24万円
◎小学校…………… 19万円	◎歴史資料館…………… 11万円
◎カブトの森…………… 2,119万円	◎遊歩道…………… 500万円
◎公民分館…………… 1,200万円	

歳入では、特別地方交付税・国県支出金等のほか、町債（町の借金）4億4,730万円を計上しています。しかし、激甚災害の指定を受けるため町の実質負担はもっと減ります。

早急な災害復旧が望まれますが、一部は22年度にまたがる可能性があります。（全員賛成承認）

訂正とお詫び
前号『GIKAIジャーナル No.160』の2ページ最下段部分「発議」欄の表決数に誤りがありましたので、左記のとおり訂正し、お詫びいたします。

正 (賛成多数可決) 賛成 7 反対 4	← (賛成多数可決) 賛成 8 反対 3	誤 (賛成多数可決) 賛成 8 反対 3
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

どげんするとなあ？

9月10日、9人の議員が一般質問をしました。

今長谷透



女性特有がんの予防接種に 公費を

町長「一定の補助を検討」

問

女性特有のがんで多いのは、乳がん、子宮頸がんです。中でも、子宮頸がんは発症が20〜30歳代に若年層化し発症率も増加しています。これに対する予防ワクチンは、世界108カ国で承認され、実用化されています。日本ではまだ未承認で、先進国の中でも死亡率が高い状態です。

今回の選挙で民主党の公約に「ワクチン接種体制を整備する。がんについては、乳がんや子宮頸がんの予防や検診を受けやすい体制を整備し、検診受診率を引き上げる。また、子宮頸がんのワクチン任意接種を促進する」と挙げられています。

日本では、2種類が現在許可を申請している状態で、今年度中には承認され実用化されると聞いています。

そこで、お尋ねします。承認された折に保険適用になるまでの間、篠栗町独自の施策として公費負担が望ましいと考えますが、町長の考えをお聞きます。

答【町長】

本町では、平成17年から30歳以上を対象としていた子宮がん検診を20歳以上に拡大して実施しています。

本年10月から20〜40歳の5歳刻みの節目年齢の方を対象に子宮がん

健康診の無料クーポン券を送付し、受診率向上につなげる事業も計画しています。

今後は、20代からの検診の重要性啓発・普及や性モラルの向上に努め、ワクチン助成については、国及び他の自治体の動向を見ながら検討します。

今の制度は、健康保険は病気という保険事故に対して適用され、予防についてのワクチン接種は、保険適用は認められていません。



豪雨を踏まえ、今後の対応は

町長「すみやかな対応に努力」

このワクチンが承認されても考えられる施策として、例えば肺炎球菌ワクチンなどでおこなっているような一定の補助を検討することになると考えます。

災害時に避難できる多目的広場を

町長「協議中で、公表できる段階に予算を組む」

永柄 邦彦



問

最近また地震が2回ほどありましたが、今回の豪雨のように災害はいつ起こるか分かりません。それだけに、災害時に一時避難できる広場は安全上必要なものです。

昨年の6月議会で「災害時に避難できる多目的広場の新設」について一般質問した際、町長は「要望書が出ているベントナ区の広場は整備を進めていく」とはっきり答弁されました。

た。当初、産業観光課の課長の話では「広場の設計予算は21年度予算に入れる」とのことでしたが、なぜか先延ばしになり、その後、町長の指示で9月の補正予算で組むと聞いていました。今回も補正予算に入っています。

町長の答弁は住民との約束であるはずですが、要望書が出てすでに3年半を過ぎましたが、何度も先送りすることは、住民の信頼を失うことになるのではないのでしょうか。

ベントナ区は毎年、消防署の協力で防災訓練をしていて、区民の防災意識も高く、広場があれば訓練もしやすくなり、また、417名の中学生以下の子どもたちも道路ではなく、広場で安全に遊ぶことができます。

今回は具体的に予算

や執行日程について、町長の答弁を求めます。

答〔町長〕

多目的広場の新設につきましても、予算化が必要で、まだ具体的にできない状況です。で伏せていますが、現在、ベントナ区の造成を継続して行っている業者と、今後の開発スケジュールを確認しているところです。

今はその業者の社内協議が公表できる状況には至っていませんので、行政もそれに足並みを揃えて公表を控えさせていたいただいています。が、確実な方向性として、水面下でベントナ区内の敷地を有力候補地とし、避難場所兼健康広場となる場所を確保するための協議を進めているところです。

当初は9月末に具体化の予測をしていましたが、少し遅れていま

して、今後、公表できる段階になった時点で、予算も計上した上、具体的内容を示し、皆さんが安心できるほどの、立派な健康広場と避難場所ができればということになると思っています。



ベントナ区での防災訓練

災害時の緊急マニュアルは

町長「今後、見直す」

阿高紀幸



国への陳情・要請の方針は

町長「これまでのやり方で」

問

従来、国への陳情・要請については、諸官庁や省の係、課長などの紹介を地元議員選出の与党・自民党の国会議員の方々がほとんどしていました。

地元選出の民主党国会議員との関係づくりは、重要性を今後増していくものと考えます。

福岡4区内の1市7町の首長さんも同じ考えかどうか、町長の思いを答弁願います。

答【町長】

あくまでも私の思いを述べさせていただくもので、4区の他の市・町長の方々と意見の擦り合わせはしていません。首長の皆様方の考えは確認していないことを、まずお断りします。

国への要望・陳情については、これまでのやり方でいくことが必要と考えています。具体的には、国道201号線の整備などで関係市町の首長や議長の皆さんと陳情に上京するときには、関係省庁と地元・福岡県選出の衆参両議院議員全員に手

分けしておこなっていました。また、本町にかかわる課題についても、総選挙前も、地元4区の渡辺前衆議院議員にはもちろん説明し、お願いしていましたが、自民党に限らず、ご縁をいただいている民主党をはじめ、各党の国会議員や県会議員の皆様方にもいろいろお話をさせていただいていました。

今回、篠栗町の災害についても各方面にお願いをしていましたが、早速新しく当選された民主党の古賀衆議院議員が来庁され、篠栗町の復興のために精いっぱい努力をすると力強い言葉をいただきました。

このように、私は篠栗町や糟屋地区の課題解決のため、地元選出の国会議員や県会議員の方とじっくり意見を交換し方向性を見出す

ことは、これからも大変重要と考えています。これまで同様、信頼関係をづくりながら、町の実情を詳しく知っていただき、地方自治に關して国政の場で十分議論いただくよう、精いっぱい努力していきます。

政権交代での町政の見通しは

町長「今は動向を見守りたい」



災害対策本部規程に抵触しないか

町長「避難勧告の放送はしました」

荒牧 泰範



問

篠栗町地域防災計画では緊急伝達するものに「避難の指示」があり、その手段は防災行政無線が第1にあります。ですが、私の知る限り先日の豪雨災害時にどなたも避難勧告の放送を聞いた方がなく、自分の家が勧告地域に入っている事を知らない方ばかりでした。後日の執行部の説明では「あの雨風・濁流音の中、放送しても聞き取れません」とのことです。

した。
町民一人一人の命を思えば「聞こえる、聞こえない」ではなく、警鐘し続けることが町の努めだと思いますし、規程に沿わないものだと思いますがいかがでしょうか。
また、せめて各区長さんには携帯電話等で指示を出すべきだったと思います。

答【町長】

避難勧告発令の後直ちに放送いたしました。しかし、24日の放送は多くの方が聞き取れなかった様です。
今後この事をふまえて情報伝達の手段はHPへの情報掲載・繰り返し放送・サイレン吹鳴などの放送と組み合わせも考えています。各区長への連絡も携帯電話・メール等を用いるよう職員体制を整えます。

財政短期計画を問う

町長「慎重な判断が求められる」

問

以下の点を柱に向こう3～5年の年度ごとの財政健全化計画をお尋ねします。

歳入では、地方交付税が絞られるとの見解でしたが、ここ4・5年は増額になっておりますがこの先の見通し、年々悪化する町税徴収率の目標値。
歳出では、特別職の一部給与カットより更なる人員削減の方が先と思えますがその削減目標数。また、膨れ続ける扶助費の再検証による削減計画。また、繰上償還計画はありますか。

答【町長】

普通交付税の見通しは、今回の災害復旧費の公債費算入等で数字の上では増加すると思われませんが、自由に使える部分は横ばいと考

え財政運営を行います。21年度の町税徴収率の目標値は現年度分98%を目指します。
定員管理は適正化計画を上回って減少していますが、事務量が増える中、やみくもな削減で町民に不利益を与えないよう再確認します。扶助費は国策と対象人口増で増えていますが、更に見直します。繰上償還は減債基金を充てることも検討し取り組めます。



防災行政無線のトランペット

有吉武喜



天空会館対岸の水害対策は

町長「関係者と協議・検討」

問

天空会館の対岸にかつて2軒の民家が存在しました。この地域は、昔から洪水のたびに浸水被害が発生しており、根本的な解消は、堤防を兼ねた極端に低い町道嵩上げしか方法はありません。前町長の時代に山王公民館を建設する際、町道の嵩上げを同時に考え、2軒の民家に立ち退いてもらうように考えられたと聞いています。

ところが、公民館は

できたものの、洪水対策などはまったく考慮されていません。

そこで、今回の豪雨により、この地域がどのようになったかご存知でしょうか。当初買収に好意的だった1軒の民家は、床上50センチまで水に浸かってしまったそうです。

そこでお尋ねいたします。

①この地域が洪水常襲地域であることをご存知でしたか。何で今まで放置されていたのですか。

②堤防を兼ねた町道を嵩上げするしか方法がなく、もし嵩上げする場合は、民家1軒を町のほうで嵩上げしなければならぬと思います。いかがですか。

③7月24日の豪雨時に、公民館に避難した人は皆無に近く、別の場所に避難されたと聞きますが、避難場所に

適さないのであれば、避難場所から外されたらどうですか。

答〔町長〕

①溢水しやすい地域と理解しています。鳴瀬ダムができ、この地域を含む下流域の危険度は下がりました。

②道路や水路等の公共施設を整備改善することと解消できない問題点があれば、関係者と協議・検討します。民家の家屋を嵩上げする整備はできません。

③豪雨時は、河川が行政区を二分するなど、公民館が最善の避難場所とは限りません。

今回も自分の経験と判断で避難され、山王公民館には、24日に2世帯、26日に1世帯が避難し、その機能は実証されました。

保育料の階層をきめ細かに

町長「広い施策を検討」

問

保育料について調べてみますと、所得階層が福岡市で9区分、篠

栗町は7区分となっています。

階層区分をきめ細かに、若年夫婦でも無理なく負担できる保育料の設定をお願いします。

答〔町長〕

保育園・幼稚園・自宅保育も含め、広い施策を検討します。もう少し区分は勉強します。



多々良川(天空会館付近)

財政硬直化対策は

町長「収入未済額の削減に取り組む」

村嶋 秀樹



問

町の財政状況を表す諸指数のうち、特に経常収支比率が19年度91・5%から20年度95・4%と大きく悪化しています。この悪化は、政策的に使える収入の割合が減っていることを表します。20年度の悪化は特別会計への補助金等の増大が大きく影響しています。

答【町長】

財政の硬直化を示す経常収支比率は、過去5年間に上昇しています。

原因は、分子部分の歳出では、人件費や物件費は抑制していますが、公債費・一部事務組合負担金・特別会計繰出金・扶助費が毎年増加し、分母の歳入は、地方税や交付税は増加ですが、歳出の増加に追いつかないためです。

この改善のため様々な対策を講じていますが、20年度で一般と特別会計の合計で7億6200万円に上る、収入未済額は非常に大きな問題です。このうち過年度分が5億5千万円もあり、この削減が緊急の課題です。

問

町税の徴収率アップ対策を尋ねます。

答【税務課長】

上位10件で1億円を越える高額滞納者を減らさないと、徴収率改善になりません。訪問徴収や呼出し、債権調

査と差押を積極的に行っています。

問

保育料の徴収率アップ対策を尋ねます。

答【こども育成課長】

今まで保育料徴収はこども育成課で行ってきました。このことが納付意識の希薄化につながるかと推測されたため、今年7月から町立保育園で催促と徴収を始めています。そのため7月分はすべて徴収できました。

問

国保税の徴収率アップ対策を尋ねます。

答【国保健康課長】

滞納者へは、短期被保険者証を活用して分割納付等の指導をきめ細かく行います。特別な事情がある場合は、減免等の検討もします。

また、簡単な手続きでできる口座振替の推進も進めます。

問

未利用町有地ほか町有財産売却の対策を尋ねます。

答【財政課長】

未利用地の民間への売却は、固定資産税収入も見込め、積極的に進めます。

※その他、入札制度改革、IT関連委託料とリース料・クリーンパークの負担金・家庭ゴミ収集料・下水処理の負担金・水道企業団の水代の削減対策を尋ねました。



防災・減災対策は

総務課長「指摘を踏まえ見直す」

松田 國守



防災と危機管理の意識高揚を

町長「防災講習会や自主防災組織に 取り組む」

問

災害時の避難指示、避難勧告、避難誘導は適切な状況判断が要求されます。

地域の状況は地域の住民が一番分かります。したがって、その地域に状況判断、情報伝達、避難指示、避難誘導等の訓練を受けた人材を配置することが重要です。

また、「避難指示時には率先避難が重要で、情報待ち是非常に危険である」と言われるよ

うに、自分の身は自分で守るという基本的な防災意識、危機管理意識を持つことが大事です。

このたびの災害の全容を検証の上、意識高揚を促す地域防災講習をまずは実施すべきと考えます。

答〔町長〕

情報の伝達手段だけを完備したとしても、町や防災機関が発信する情報を住民が有効に利用できるならば、避難等の行動に移ることができない状況に陥るおそれがあります。

したがって、防災講習会の実施や自主防災組織の設立等の取り組みを通して、防災に詳しい地域のリーダー養成と地域住民の防災意識の向上を図ります。

AED貸し出し制度を

町長「準備を進める」

問

AED（自動体外式除細動器）は、一般市民にも使用が認められた、医学的知識がなくても簡単な操作で救命処置ができる医療機器です。

学校・幼稚園・保育園・役場・オアシスなどの主たる公共施設に設置されていますが、公民館・体育館にはありません。

公民館は、総会や敬老会では大勢の人でいっぱいになります。また区の行事で、夏祭りや秋祭りは広場で、スポーツ関係は体育館や学校のグラウンドで行

います。

いずれの場合でも主催者としては、けが人や心臓発作等の不測の事態が心配です。AEDが手元にあれば、万が一の事態に一時救済措置が素早くでき安心です。

貸し出しの制度を求める区や区民の声があります。是非この制度を設けていただきたい。

答〔町長〕

AEDは心臓の心室細動に電気ショックを与え、正常な動きに戻す医療機器で、救命率アップに設置の促進が望まれています。

機器の貸し出しについては率先して実施しなければならぬと考えます。今後、担当課で規則等を定め、貸し出しに向けての準備をします。



役場1階のAED

政権交代後の町政は

町長「国の動きを見定め、町の将来を
探る」



阿部寛治

問

熱い熱い2009年
8月30日が終わり、歴
史に残る政権交代が起
きました。まさに国民
の怒りが、長く続いた
官僚主導による自民党
支配に終止符を打たせ
たのです。

景気低迷、格差社会、年金福祉など社会保障の不備や雇用問題、少子高齢化、農村・地方の衰退、総中流の崩壊、財政危機は一段と深刻になっています。

そういう中、多くの

国民の不満と不安が爆発し、変化を求めた声によって圧倒的多数で民主党政権が成立したというのが、今回の衆議院選挙であったと思います。

今までの自民党政治に慣れきった市町村の行政運営に戸惑いが出るのは必至です。

わが町では、去る7月24日の水害により甚大な被害を被った直後であり、一刻も早い復興が望まれます。

また、新型コロナウイルスエンザの感染者も急激に増え、今年の秋冬の流行は避けられない状況でその対策も急がれます。このように町民のための緊急な行政運営は待ったなしの状態です。

一方で本町の将来を考えると、合併問題の議論も立消え状態のまま推移してよいものかという疑問も浮かん

でいきます。

①政権交代による町政運営への不安はどういう事案が考えられますか。

②町の将来像を考えると、合併問題はど
う位置づけられますか。

答
【町長】

①現時点では新政権の具体的な施策が出されていませんので、個別の政策について検証ができるわけではありませんが、町政運営も少なからず影響を受けるのではと考えます。

今後の国政の動きを
注意深く見定めていき
たいと思います。

②基礎自治体である市町村は、住民に最も身近な行政主体として、更に自立性を高めていくことが期待され、それにふさわしい権限と財政基盤を持ち、高度化する行政事務に的確に対応できる専門性をも

鳩山内閣 発足

○国民主権、地域主権の政治の二本柱。
○政策の立案や調整は大政、閣内大政、大臣政務官の「政務三役会議」で行う。与野の事前協議を慣行を廃止。
○首相官邸の国家戦略室を設け、官邸主導で配分された官制や経済政策の基本方針を決定。
○首相主宰で行政刷新会議開催。すべての予算や事業を見直し。
○今後2年間で地方交付金に集約し、地方自治に取り組み。
○郵政事業の在り方を地域主権の観点から抜本的に見直し。
○郵政かつ法改正に民間関係内閣。具体的対応は行政指針を日本郵政、独立行政法人に押し出す。



16年ぶり政権交代

民主主

求められています。

これまでのような国の財政措置が続く中で地方分権が進展し、国から地方への権限移譲が加速していくような場合には、合併は避けて通れない問題だと認識しています。

しばらくは新政府の地方行政への姿勢を見ながら、町の将来を探っていきます。

「鳩山内閣発足」を伝える記事
(平成21年9月17日 西日本新聞朝刊より)

大楠 英志



災害復旧のめどは

町長「3年以内に早期復旧」

広報ささぐりの9月号に7月豪雨・復興をめざすと決意とも取れるタイトルで記載してありました。議会も同じ気持ちでございます。ともに協力をして一日でも早い災害の復旧に努力したいと思っています。

問

九州北部豪雨災害による篠栗町の被害総額を尋ねます。

答【町長】

国の査定をこれから

受けるところであり、

現在のところ被害額は出ていません。災害復旧費として8億2000万円程度は概算で組んでいます。今後被害額が固まり補助額が決定しましたら補正予算を計上いたします。

この他に国・県の個別の事業として大規模な治山工事、砂防工事が計画的になされていく予定になっています。

問

甚大な被害が発生し復旧は長期になると思われますが、復旧のめどはいつ頃になるのか尋ねます。

答【町長】

国の査定を受けて3年以内に復旧とされていますので、3年をめどにできる限り早期に復旧したいと考えています。

問

災害復旧工事において、宅地内や水田等に土砂が流入しています。多少の土砂は被害に遭われた方で除去されていますが、大量の土砂の除去は人力では困難であり、行政においての要望が多く、これに答えていただきたいと思っています。

答【町長】

災害による被害を受けた個人財産の復旧は、農地災害復旧事業に限られています。大変厳しいようですが災害復旧工事でできない箇所においての土砂の撤去は、それぞれの方でというのが建前です。ご理解のほどお願いします。

問

町民の方は災害の窓口や所管等が分かりません。ただ災害を被った事実に関心がある早期復

旧をしてもらいたいと願っておられます。

ある町民の方からの、河川の護岸崩壊等で役場への届出に対し、直接県に申し出てくれという対応であったそうです。

町民の方は、わらをもつかむような気持ちで訴えてあるので、もう少し親切な対応をするように指導を求めます。

答【町長】

住民の方がたらいま



河川の水害状況

防災訓練の実施を

町長「イベントを通じて防災意識を高めたい」

わしにされたとの苦情が寄せられたということですが、今後は非常時の場合にもそういうことがないよう適切に対応していきたいと思っています。

View of SASAGURI

篠栗の風景



表紙の写真は、初秋の樹芸の森から鳴淵ダムを撮影しました。ちょうど行き交うお遍路さんが撮れたことはラッキーでした。

裏表紙は萩尾分校のすぐ上の旧県道で、地元の方は「めがね橋」と言っておられます。大正11年頃に建設された石橋です。欄干には「ほこ

たて」と刻んでありました。

貴重な文化遺産だと思いますので大切に保存したいですね。

(写真提供とコメントは鹿毛敏宏氏)

篠栗町内の風景写真募集中!!

議会事務局までご連絡下さい ※採用された方に図書券進呈

編集後記

今回の総選挙では民主党が圧勝し、鳩山連立政権が誕生しました。

内閣支持率も75%以上で、生活の苦しさや不安から現状を変えてほしいという切実な国民の声が政治を動かしたものと世論調査で報告されています。

政権交代は町政運営にも大きく影響します。議会も住民生活の向上のために対応していくことが求められます。

発行責任者

議長 今泉 正敏

議会広報編集特別委員会

委員長	村嶋 秀樹
副委員長	永柄 邦彦
委員	後藤 百合子
委員	草場 謙次
委員	大楠 英志
委員	松田 國守

お知らせ

次回の12月定例会は、12月9日からの予定です。
一般質問は11日の予定です。
ので、お気軽に傍聴にお越しください。

● ざかいジャーナルへのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。